



第189号 毎月11日は小松島市「人権の日」 発行所 ●小松島市 小松島市教育委員会 小松島市人権教育振興協議会

## 第41回 小松島市人権教育・啓発研修大会開催される

第41回小松島市人権教育・啓発研修大会が、2月8日(水)、市サウインドハウスホール・市保健センターにおいて、102名の会員・市民が参加して盛大に開催されました。

### 【開会行事】



開会行事では、主催者を代表して、中山俊雄市長より挨拶があり、続いて来賓を代表して、市議会の米崎賢治議長よりご挨拶をいただきました。最後に、小野寺勉会長から大会宣言(案)が読みあげられ、大きな拍手で承認されました。これらの内容については、紙面の関係で省略させていただきます。

### 【全体会】

#### 全体会・分科会の提案発表(大会要項より)

#### ◎ 家庭教育部会

一人一人の良さを生かし、  
ともに伸びゆく子どもの育成をめざして

1 はじめに  
児安小学校PTA 原 圭子・前田加奈

児安小学校では、学校教育目標「一人一人の良さを生かし、ともに伸びゆく児安の子ども」の育成を目指して、学校、保護者、地域が連携して、教育活動やPTA活動等を実践している。日々、子ども一人一人をかけがえのない大切な存在として尊重し、子どもの個性の伸長や確かな学力の定着に向けて連携を深めている。そして、子どもが、差別をしない、させない、許さない、するどい人権感覚を身につけ、自分も周囲の人も大切にできる豊かな心を育めるよう粘り強く取り組んできた。

### 2 取組

○人権学習 ○縦割り班活動・スマイル集会・ふるさとオリエンテーリング遠足 ○なかよし委員会  
の活動:あいつ運動:なかよしこやすっこおみくじ・  
ラッキーハートクローバー ○人権の花贈呈式 ○  
ノーマディアデー ○休日親子読書 ○人権のまち  
づくり子ども会の活動 ○人権授業参観日 ○人権  
問題講演会の開催

### 3 おわりに

コロナ禍で人と人とのつながりの大切さが再認識される今こそ、子どもたちが様々な人との関わりの中で  
気づき、考え、心身共に健やかに成長できるように、  
大人は創意工夫を凝らして環境を整え、全力で子ども  
たちを育てていかなければならないと感じる。



子どもたちは、「あいさ  
ついっぱい」「まなびいっ  
ぱい」「かんどいっぱい」  
を合言葉に学校生活を送  
っている。そして、私たち  
保護者は、その様子を学校  
HPや学年通信、学校だよ  
り、子どもとの会話等から  
知ることができた。また、  
家庭からは、子どもの小

な変化や課題を見逃さず気軽に学校へ相談や連絡を  
し、問題解決にも努めてきた。そして何より、地域  
の方の温かい見守りと支えにより、子どもたちは安  
心して毎日を過ごすことができています。

今後、私たち保護者が互いに手を取り合い、学  
校と連携し、子どもをしっかり見つめ、深く理解し、  
温かい人間関係づくりに努めていきたいとの思いを  
強くしている。そして、変化の激しいこの社会の中で、  
子どもたちが将来自立を果たし、たくましく、心豊  
かに生きていけるよう見守り大切に育てていきたい。

#### ◎ 社会教育部会

#### 南小松島公民館人権学習の取組

南小松島公民館 山本富繁

### 1 はじめに

南小松島公民館は、5地区(川南、横須、須賀、  
日開野、金磯)で構成し、横須(横須公会堂)、金磯(金  
磯会館・消防分団併設)は単独の集会所を持っている。  
川南、横須の2地区は少子・高齢化による人口  
減少が進む一方で、日開野、金磯の2地区は宅地開  
発により人口増が続くなど、地域の様子も大きく変  
化している。そのような影響もあり、恒例となっ  
ていた町民運動会や球技大会を開催できなくなったり、  
各地区で実施していた地区懇談会(人権学習)も運  
営委員と公民館利用者を対象としたものとなったり  
するなど、公民館活動の見直しを図る必要に迫られ  
ている現状がある。

### 2 人権学習の取組

(1) 公民館の年間活動(令和元年)  
・5月下旬 芸能祭 文化祭 ・9月・10月・11月  
人権学習会

(2) これまでの取組み  
公民館建て替えのため令和元年10月から活動拠  
点を教育分庁舎(旧勤労青少年ホーム)に移したが、  
人権学習は公民館利用者を対象としたため人が集ま  
らず、また翌年1月からコロナウイルス感染の兆候  
が見られ、令和2年度・3年度は拡大防止のためす  
べての行事が中止された。

(〜令和元年)



・年3回の人権学習会と交  
流会(過去7回) ・公民  
館利用者に参加していた  
き、12課題をテーマにし  
て学習会を実施  
(3) 令和4年度の取組  
①各種人権問題研修会への  
参加  
・第1回〜第3回人権教育  
学級・人権教育・啓発推

進者研修会 ・ 人権問題講演会 ・ こまつし  
ま市民人権のつどい ・ 県人権教育研究大会  
への参加

②令和5年1月15日 千代公民館との交流会  
実施

3 おわりに

南小松島公民館の建て替えは、令和5年4  
月ごろの予定だったが前倒しになり、急遽活  
動拠点の変更を余儀なくされた。そのため、  
代替施設では活動しにくいクラブが他に活動  
場所を移すとともに、令和2年1月頃から始  
まった新型コロナウイルスの世界的流行によ  
り参加者が大きく減少した。

令和3年4月、南小松島公民館は新しい施  
設に生まれ変わり再出発することができたが、  
未だに続く新型コロナウイルスの影響で開設  
記念講演も行われず、本来の年間活動を行う  
ための諸条件は整っていない。公民館活動の  
目的である地域住民の生活文化の振興や社会  
福祉の増進に寄与するためにも、できるだけ  
早く新型コロナウイルスが終息することを願  
っている。

◎ 企業・職域部会

銀行におけるユニバーサルサービス  
～お客さまが来店しやすい、  
やさしい銀行をめざして～

阿波銀行 小松島支店 久保拓也



銀行のひとつとして、お客さま目線に立った

阿波銀行は、明  
治29(1896)年  
6月21日創業、今年  
で126年を迎え  
た。小松島支店に  
おいても、100

年の歴史を数え、  
日頃より多くの市  
民が利用する地元

サービスに努めてきた。

2 取組

○ 入行時に全員で集合研修をしている。○ 職  
場単位ごとに、年一回のビデオ研修・人権標  
語への参加を行っている。

(2) 施設やサービスの充実

銀行業として高い公共性が求められるた  
め、できるだけ多くのお客さまに、利用しや  
すい設備やサービスを提供することも使命の  
ひとつと考えている。

○ ご高齢のお客さま

文字が見づらい、足腰に負担がかかる、聞  
きづらい、書きづらい。…ご本人様の意思を  
尊重して、お手伝いをする。

○ 視覚障がいのあるお客さま

窓口がどこか? 「こちら」はどちら? 書類  
が読めない。…声をかける、お客さまの望む  
方法をお聞きする、具体的な説明をする。

○ 聴覚・言語障がいのあるお客さま

コミュニケーションがうまくとれない、呼  
ばれたことに気づかない。…お客さまの方か  
ら申し出ていただく工夫をする、複数の方法  
を併用する。

○ 車いすをご利用のお客さま

段差は苦手、筆記がうまくできない、呼ば  
れたことに気づかない。…車いすの方の目線  
に合わせる、お望みの方法でサポートする。

○ ユニバーサルデザインによる店舗づくり

新店舗の設備やレイアウトは、障がいの有  
無、年齢、言語などにかかわらず、すべての  
人が使いやすい設計になっている。

○ 地域への貢献

とくしま協働の森づくりパートナーシップ協  
定、あわぎん森づくりボランティア、とくしま  
農山村(ふるさと)協働パートナー協定、アド  
プト・プログラム吉野川への参加、徳島県にお  
ける高齢者等の見守り活動に関する協定 等

3 おわりに

あらゆる人の立場(高齢者、障がい者、妊婦  
子どもなど)に立って、公平なサービスの提  
供に努めていきたい。年齢、性別、国籍、障  
がいの有無にかかわらず、互いの違いを認め  
合い、尊重しあう。そのための気配り、目配り、  
心配りという「怒」の精神に基づき、当行で  
は人権問題を解決のため、ハード面、ソフト面  
ハート面の3要素を意識し誰もが利用しやす  
い銀行を目指して行動していきたい。

【分科会】

◎ 家庭教育部会

正しく知り自分のこととしてとらえる人権教育

小松島高校PTA 地道千嘉・安本生美

1 はじめに

小松島高校では、①基本的な生活習慣を身に  
つけ、授業等を大切にすること②自分を大切  
にし生活にけじめをつけること(自主自律)  
③人権を尊重し、支え合う仲間づくりを心が  
けること(親和協同)④何事も積極的に取り  
組み、自分を高めること(日新日進)などの  
スクールポリシーを教育の中心にすえて、生  
徒は日々勉強や部活動やその他諸活動に取り  
組んでいる。PTAは我が子のことはもとよ  
り、小松島高校生全員の心身に健やかな成  
長を願い、見守っている。また、小松島高校  
生は、高校卒業後、また大学等に進学後に地  
元で就職する生徒が多く、地域活性化の一翼  
を担う存在として期待されており、人権教育  
をはじめとして心豊かな生徒への育成が必要  
である。

2 取組

- ①コリアンタウン(大阪市) ②立命館大学国際  
平和ミュージアム(京都府) ③長島愛生園(岡  
山県) ④ホロコースト記念館と人権平和資料館  
(福山市) ⑤広島平和記念資料館(広島県)

(2) 人権研修会

○講演会(竹内昌彦氏・榊凌我氏・山中千枝  
子氏・大湾昇氏・湯浅真典氏・江口久/徹子  
氏他)

○校内人権意見発表会

(3) 松高祭麦茶サービス

(4) ボランティア活動

(5) 人権新聞「希望の泉」・松高だより

3 おわりに

保護者同士で話しているとスマートフォン  
の普及などにより、家庭内での会話が減って  
きている現状があることがわかる。私たち保  
護者は、学校で子どもが何をしているのかを  
学校から送られてくる学校便りを知り、PTA  
活動の一つである麦茶サービスをしながら、  
子どもや他の生徒たちの様子を直に知ること  
ができる。学校では、人権に関する様々な活  
動をしており、その機会をとらえて、子ども  
は新しい正しい知識を学んでいる。私たち保  
護者も、PTA活動や講演会に積極的に参加  
し、「希望の泉」が届いたら、ゆっくりと子ど  
も向き合う時間を持ちたいと思う。

人権に関して、正しいことを知り実行して  
いけるPTA活動を続けていきたいと思う。

そして、子どもと対等に話し合える保護者で  
あるよう努力していきたい。

◎ 社会教育部会

コロナ禍における人権啓発

見安公民館 福井正弘

1 はじめに

本館は市の北西、見安小学校区の文化・教養・  
趣味活動の拠点として昭和56年建設された。  
以来40年以上地域住民のための多様な活動を  
続けてきた。

しかしこの数年のコロナ禍の影響は大き  
く、令和2年明けて早々からコロナの猛威の  
ため、活動の中心を担う子どもとその保護者  
らや高齢層が家庭にこもりざるを得ない状況



となった。

以来最近までほぼ貸館のみの運営となっていたが、運営・人権推進委員らの参加協力を得て、今年度ようやく人権研修と合わせた委員会総会を開催した。

2 今年度の取組

(一) 児安公民館人権研修会と人権推進委員会

10月22日 出席10名

・人権研修会

「知ろう、考えよう、学ぼう人権」講師 市人権教育指導員 上田貢さん

多岐にわたる人権問題を包括的に示され、共通して気を配るべき点についての確にご教示いただいた。

・教材フィルム「最期の願い」上映

癌の末期を自宅で迎える患者と家族のドキュメントフィルム。参加者の多くが高齢であることもあり、みな自分事として引き寄せて視聴した。

・人権推進委員会

委員の選任と今年度計画について話し合った。

(二) 市人権教育振興協議会関係研修会等

○人権教育振興協議会総会 6月8日 出席1名

○人権問題講演会「人と皮革の歴史」8月17日

講師 県人権問題講師団 福田邦孝さん 2名参加

○第1回人権教育学級「男女共同参画の現状と課題」9月9日 講師 アイ女性会議

事務局 高開千代子さん 2名参加

○第2回人権教育学級「外国人と人権」10月

19日 講師 四国大学文学部教授 マークフ

エネリーさん 1名参加

○第3回人権教育学級「子どもへのまなざし」から考える人権」11月18日 講師 まつ

しげ保育所長 北濱道子さん 1名参加

○こまつしま市民人権のつどい・中学生人権

意見発表と人権コンサート 12月4日 講師

株式会社Grace Note代表 前川裕美

さん 1名参加

3 おわりに

人権と差別のことを考えると、差別する側の思い込みや決めつけと、される側の痛みに思いいたった。当たり前かもしれないが、双方の気持ちに寄り添えあえることを強く願っている。

コロナ禍では様々な人権侵害が表面化することもある。人権啓発活動がどれだけ効果を上げられるか、今後も試され続けるのではないかとと思う。

◎ 企業・職域部会

施設利用者の虐待防止への取り組み

徳島赤十字ひのみね総合療育センター 島本 耕志

1 はじめに

障がい者に対する虐待は、人権を侵害し、尊厳を著しく傷付けるものである。そのため、障がい者への虐待禁止、国等の責務、養護者に対する支援等、障がい者の権利利益の擁護に資することを目的に平成23年6月に「障害者虐待防止法」が施行された。

虐待には、養護者による虐待、施設従事者による虐待、使用者による虐待があり、放棄・放置や身体的、心理的、性的、経済的虐待の5類型に分けられる。

障がい者虐待を受けたと思われる障がい者を発見したものは、速やかに県・市町村へ通報の義務がある。

当施設では、どのような行為が虐待にあたるのかをはじめ、様々な場面での状況、行った対応などを検討し、虐待のない適切な支援が行えるよう努め、利用される皆様に質の高い医療・福祉の提供に向けて取り組んでいる。

2 当施設の取組

① 私たち職員は施設を利用する方に虐待をしません。

② 施設内における虐待防止を図るため虐待防止委員会を設置し、日頃から虐待防止の啓発に努めます。

③ 虐待防止のマネージャーを設置し、相談窓口をわかりやすくします。

④ 虐待を発見した場合は、市町村に通報します。

3 おわりに

虐待が本人の心へ与える影響は計り知れないものがある。私たちは、個々の障がいの特性、何が虐待に当たるのかを繰り返し研修を行うことで、全員が共通認識をもつことができよう取り組んでいる。

そのため、定期的な委員会での検討や、内部研修の実施により何が虐待に当たるのかを理解し、支援技術の向上を図ることで虐待防止を図り、人権研修等へ積極的に参加できる機会を設ける等により職員の質の向上に努めている。

障がい者の人権を守るため、権利擁護を基に、安心した生活が送れるよう、今後も切れ目のない支援を行っていきたい。

第2回人権教育学級

10月19日市サウンドハウスホール

イギリス人から見た「日本」

四国大学文学部国際文化学科教授

マーク・フェネリーさん

「あなたの名前をどう呼ばいいですか。」

とよく言われます。「英語ではマーク・フェネリー、日本語ではフェネリー・マークです。」

と答えます。昔だったら、例えば田中はじめ

さんを英語で言う時はハジメ・タナカでした

が、最近の教科書ではタナカ・ハジメという

ように日本人と同じように言いましようとな

っています。でも個人的には、外国の方に伝

える時には英語風で言った方が分かりやすい

のではないかと思います。ただ自分の場合は、

グレンというミドルネームがあるので、英

語ではマーク・グレン・フェネリーとなり

ます。

ミドルネームがあると日本ではいろんなこ

とで困ります。

実は私は婚姻届を何度も書きました。結婚は1回しかしていないのです。なぜかというと、婚姻届はフルネームで書くことになっているんですが、名前を書く場所には2つの枠しかありません。名前が3つある者はどうやって書けばいいのでしょうか。私も市役所の人もよく分からなかったんです。結局、フェネリーが名字ということで、フェネリー・マークグレン」と書くということになりました。そこにたどり着くまでにはずいぶん時間がかかりました。でもその時は、日本人は日本人のことしか考えていないんだなと思いました。まあ、国によって名前の作り方が違いますので、いろんな人がいるっていう想定で、日本の行政も考えてほしいと思います。

徳島に住んでいる外国人は、2021年のデータによると5033人です。どこの国の人が多いと思いますか。一番多いのは中国です。じゃあ2位は？韓国とっている方が多いかもしれませんが、今はベトナムです。そしてフィリピンが3位、やはり、アジアの国が非常に多いんですね。コロナでこの1〜2年は若干減っていますが、年々、外国人が増えてきています。同じように、学校で日本語の支援が必要な児童も増えていきます。小松島市でも、外国人のために熱心に日本語の指導をされている方々がいると聞いています。これからは、こういうニーズがどんどん増えていくと思います。

私は日本ですてきな生活をしていますし、私を支えてくれてる人もたくさんいますが、苦い思いをしている外国人の知り合いもいます。もちろん徳島でも、すごくやさしく熱心に外国人労働者に対して接している会社もたくさんあると思います。でも中には、人間扱いされていないと感じている外国人の方がいらっしゃいます。私は白人でイギリス人です

から、そういうようなひどい扱いをされたことはありませんが、なかには、特にアジア出身の方がひどい目にあう場合もあるらしいです。



で、皆さんは様々な外国人の方とも、同じ人間、同じ住民として接していくことが大切なことだと思います。

※紙面の都合により、講演内容の一部を掲載しています。

### 第3回人権教育学級

11月18日市サウンドハウスホール

#### 「子どもへのまなざし」から考える人権

徳島県人権教育指導員 北濱道子さん

世の中の変化はめまぐるしいですが、どんなに時代が変化しても変わらないものがあります。それは人が育っていく筋道です。お母さんのお腹の中で育って生まれてきて、オッパイを飲んで、首がすわって、寝返りができ、お座りができ、ハイハイし、つかまり立ち、ひとり立ちという、この過程は絶対に変わるものではないです。そしてそれと同様に、心の育つ過程も変わるものではないです。ど

れだけ環境が変わり、便利になろうと、変わるものではないです。では、どのように子どもの心は育っていくのでしょうか。私は、就学前の子ども達とのふれあいがかりです。就学前の子どもの話になりますが、乳幼児期の早い時期、1歳〜3歳までの間は特に大切と言われています。

「三つ子の魂百まで」とよく言われていますが、その言葉の中には深い真実が含まれています。人間形成は生きていく限り続きますが、その土台になるのはやはり3歳くらいまでです。

佐々木正美先生(児童精神科医 1935〜2017)は「人は土台が大切、そして土台はやり直せない、土台を育てるために、まず子どもの心を知りましょう。」と言われました。

では、乳幼児を育てるための大人の関わりを考えてみましょう。トイレトレーニングの時期は大切にしてください。上手くやれるようになるのは早い遅いはあっても、当たり前にできるようにします。遅いからといって大丈夫です。できた時には過剰に褒めず、ごく普通に褒めてあげましょう。失敗しても当たり前だと思ってください。失敗しても大丈夫です。この大丈夫という言葉は魔法の言葉です。大人も「大丈夫」と言われると安心します。では、失敗したときはどうすればいいのでしょうか。「変な顔しないで、替えようね。」とニッコリしながら替えてあげてください。それだけでいいのです。替えた後は、「気持ちよくなったね。」って

言います。無理な強制や極端な褒め言葉は自立を妨げてしまいます。このような声かけて土台は育てられていきます。子どもは叱られたことはすぐに忘れま

すが、翌日にはケロッとしています。忘れるから、ついつい「何回言うても忘れる。何回言うたら分かるん。」と言ってしまうよ。子どもはなかなか分かりません。でも、忘れることが健康に育っている証拠なんです。幼児期の子どもの特徴です。



も同じことをします。これらを長所と捉えてください。いくら叱っても同じことをします。翌日にはケロッとしています。忘れるから、ついつい「何回言うても忘れる。何回言うたら分かるん。」と言ってしまうよ。子どもはなかなか分かりません。でも、忘れることが健康に育っている証拠なんです。幼児期の子どもの特徴です。

だから成長していきます。幼児期の子どもの体は動かさないと知恵もつきません。小さな失敗のくり返して、取り返しのできない失敗や叱られたことを忘れる力があるから小さい失敗を繰り返すことができます。常に叱られ続け、行動範囲を制限され強い指示や命令を受けていると、反対に子ども達は叱られたことや失敗を忘れることができなくなります。萎縮して意欲や自信のない子になってしまいます。「何回言うても分からん子」「さっきやって痛かったのにまたしよう。」「この子いけるんやらか。」と愚痴をこぼしてしまいがちになります。元気に育っている証拠なんです。失敗したということは一つ知恵が増えたんだと思っ

て叱り過ぎないようにしてください。※紙面の都合により、講演内容の一部を掲載しています。

だから成長していきます。幼児期の子どもの体は動かさないと知恵もつきません。小さな失敗のくり返して、取り返しのできない失敗や叱られたことを忘れる力があるから小さい失敗を繰り返すことができます。常に叱られ続け、行動範囲を制限され強い指示や命令を受けていると、反対に子ども達は叱られたことや失敗を忘れることができなくなります。萎縮して意欲や自信のない子になってしまいます。「何回言うても分からん子」「さっきやって痛かったのにまたしよう。」「この子いけるんやらか。」と愚痴をこぼしてしまいがちになります。元気に育っている証拠なんです。失敗したということは一つ知恵が増えたんだと思っ

て叱り過ぎないようにしてください。※紙面の都合により、講演内容の一部を掲載しています。

## 2022年度 こまつしま市民人権のつどい 12月4日サウンドハウスホール

### ●第一部「中学生人権意見発表」

小松島南中学校2年生の日切結月(ひぎりゆづき)さんが「私の願い」、小松島南中学校3年生の井原一葉(いはらひと)さんが「好きなものを好きと言え



る社会に」と題して、それぞれの想いや考えを発表してくれました。堂々とした発表態度で、自分をしっかりと見つめ、相手を思いやることの大切さを訴えました。

「夢みる力を信じて」〜ともに生きる未来〜  
株式会社 Grace Note  
代表取締役 前川裕美さん

前川さんは、幼少の頃から音楽教室に通っていましたが、小学校5年生の時に「網膜色素変性症」と診断されました。

前川さんによると、「網膜色素変性症」の人には、次のような特徴的な症状があるとのこと。①視力が低下するが矯正が効きにくい。②視野が狭まっていく。③色を見分ける力が無くなっていく。④暗い所で物を見る力が弱い。⑤立体的に物が見えない。症状が進行していく中で辛かったのは、学びづらさや生活のしづらさだけではなく、周りの人たちに視覚障害の状況を説明してもらえな



なかつたことなんでしょう。日本には「網膜色素変性症」の人が5万人程いますが、それぞれ症状の度合いが違います。そのような人たちが

私たちの周りにいるということを先ずは知っていただいて、困っている様子を見た時には是非声をかけてくださいと話されていました。

前川さんは努力を続けて、中学1年生でクラシックの作曲理論を学び始め、高校では映画音楽とミュージカルに興味を持ちました。高校卒業後はアメリカで語学を学び、1998年にマサチューセッツ州のバークリー音楽大学に入学、作曲、ピアノなどを6年間学びました。そして、2004年からは、人々に夢と希望を届けたいと全国各地でトーク&コンサート活動を行うとともに、テレビ、ラジオにも数多く出演されるなど、意欲的に活動されています。